

第12回ミナミ活性化協議会代表者会議結果

1 日時

平成29年1月14日（土）午後2時00分から

2 場所

オ・セイリュウ 地下1階 BRASILIA

3 出席者（敬称略）

役 職	氏 名
大阪府副知事	竹内 廣行
大阪市長	吉村 洋文
大阪府警察本部長	村田 隆
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本 敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福長 徳治
大阪商工会議所副会頭	小嶋 淳司

4 意見交換

○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

1年間の活動状況並びに現在の状況等をまとめており発表する。

このミナミ活性化協議会代表者会議は、平成17年の第一回目の会議開催以来、今回で12回目である。

協議会設立当時のミナミは、所謂カラス族と呼ばれる黒服を着た風俗店の客引きが横行し、違法ファッションヘルスやホストクラブ、風俗案内所の乱立、路上には放置自転車やはみ出し看板などが溢れており、様々な問題を抱えていた。

そのような中、「風情あるミナミの街を取り戻したい」、「ミナミの街を自分たちの手で良くしていこう」という我々地元の熱い思いから、平成17年2月に地元商店会や地域振興会などで構成する「ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会」を設立した。それ以来、我々地元では『みんなでつくろう ええ街ミナミ』をスローガンに掲げて、夜間パトロールの実施や、はみ出し看板等の解消に向けた自主規制を行ってきたほか、「地域のルールづくり」に取り組んできた。

その結果、平成22年には、用途を制限した宗右衛門町地区地区計画条例が制定され、その後、宗右衛門町通りの無電柱化と石畳化が完成した。また、平成25年には、心斎橋筋商店街において景観協定、昨年8月には、戎橋筋商店街において建築協定が締結されるなど、地元としても、商店街のブランド力向上と賑わいある健全な街づくりに向けて取り組んでいるところである。

関係行政機関、経済界におかれましても、これまでに数多くの取組を行っていただき地元としても、大変感謝している。中でも、設立当初から問題となっていた客引き問題において、大阪府警察では、迷惑防止条例を改正の上、取締りの強化を図っていただいたほか、悪質なガールズバーグループの摘発やそこで働いている少女の補導活動が行われるなど、継続的な取組が行われているということに対し、感謝を申し上げる。

併せて大阪市においても、平成26年に、全国初となる大阪市客引き適正化条例を制定されて、現在は20名の指導員の方々が、日々、戎橋を中心に巡回指導が行われており、客引き行為者への指導を厳しく実施していただき、その効果も大いに現れているところである。

この条例施行を機に、警察と大阪市では、条例の効果的な運用を目的に緊密に情報交換が行われているという風に伺っている。

去年は、ミナミやキタの歓楽街において、通行中の若い女性をターゲットに性風俗店等に勧誘していたスカウトグループが摘発され、地元としても大変心強く感じている。

また、放置自転車については、建設局の方で地元の要望を取り入れて、種々撤去作業を行っていただいているところである。さらに、ミナミエリアにおける駐輪場の設置も大きく進めていただき、現在では設置できる場所はほとんどと言って良いくらいに設置されており、その数は計3,100台にも上ると聞いている。いかんせん絶対数が大きいので、なかなか思うようにはすっきりいかないというのが実情であるが、今後とも地元と情報交換をしていただき、効果的な自転車撤去や駐輪場設置をよろしくお願ひしたい。

放置自転車対策の一環として平成22年に制定された「自転車駐車場付置義務条例」については、老朽化したビルの立て替えや空き地の再利用を行う時の負担となる現状が見られたので、街の再生の経済活動の足かせになっていると思い、この点において条例の見直しを、代表者会議の場でお願ひしてきたところである。その結果、昨年4月に、地域特性に合わせた条例に改正され、駐輪場の設置可能範囲の拡大、商店街をひとつのモールと見立てた共同駐輪場が制度化されるなど、規制が緩和されて、一歩前進したな、と感謝している。地元としても、今後も建設局と意見交換を行いながら、ミナミ地区で各種事業を行う者に対して、その従業員や来訪者に駐輪マナー等を啓発していくよう促すなど、出来る限りの協力をしていきたいと考えており、今後ともよろしくお願ひしたい。

こうして、ここに集まる各団体の取り組みとインバウンド効果も相まって、ミナミの街は世界に誇れる安全で安心な魅力溢れるまちの実現に向けて着実に前進しており、各団体の皆様には、その点、改めて感謝を申し上げます。

しかしながら、現在もなお、路上での客引きの姿は多く、客引き適正化指導員の方々の勤務が終了すると、戎橋を中心に、客引きが集まるという状況である。フリーキャッチといわれる客引きが増えて、その活動の実態が悪質化してきているというのが現状である。

それに対して昨年年末には、戎橋や、道頓堀、宗右衛門町など、客引きが多く集まる場所において、機動隊や南警察署員の方による制服姿での警戒を強化していただき、客引きの減少が見られるなど、改めて制服警察官の存在と警戒力のすごさを実感した。

また、交番所内へ引き入れてのキャッチ指導も新たに行っていただき、これも大きな効果が出ている。出来ましたら制服警察官による警戒活動等を引き続き強化していただければ、地元としても大変心強く感じるので、この点も何卒お願ひしたい。

また、大阪市においても、指導員の配置や巡回方法に策を弄していただき、さらには時間帯の延長など、熱心に客引き問題に対峙していただいております。感謝申し上げます。

客引き行為者の供給元である大学にも積極的に働きかけをされたり、昨年年末には、客引きさせた者に対する初の氏名公表も行われるなど、客引きの抑止が一層高まることを期待している。しかしながら、現状では客引き対策もイタチゴッコの状態が否めないところであり、これからが正念場だという風に地元では考えている。

そこで、地元としては、指導員の方の更なる増員と現条例の更なる厳格化をお願ひし、これが一層の客引き減少に繋がればと期待している。地元としても、これまで以上に警察、行政と連携を図りながら違法風俗店や客引きを行うような店舗をビルに入居させないために、どのような取組が効果的か検討を重ね「客引きが出来ないミナミのまち」「まちの根源的な浄化」ということに向けて取り組んでいきたいと思っているので、是非とも、ご指導、ご協力のほどお願ひしたい。

また、インバウンド観光が急増するなか、大阪における受入拠点としてミナミの発展を図ることは、大阪全体の集客力強化に繋がることから、観光都市として必要なインフラ再整備が急務で

ある。そういう観点からも、「なんば駅前の広場化」の実現は観光インフラとして絶対にやり遂げなくてはならない取組だと思っている。

昨年、この会議においても、実現に向けて、官民一体となった強い推進力がないと広場化の計画が長期化されてしまうおそれがあることを申し上げた。これについても、昨年11月に、地元商店街・町会、行政、商工会議所で構成された実行委員会が主催した社会実験が行われた。

タクシー乗場・タクシープールを移設の上、なんば駅前の道路を南向き一方通行化し、インフォメーションをはじめ、カフェや休憩スペースの設置、さらに日替わりでマーケットやライブなどのイベントを行うというもので、道路空間の再編による人中心の空間づくり、すなわち広場化の社会実験である。ミナミが一つにまとまって、1900万円ほどの支援金が集まり、地元、行政、商工会議所の担当者が協力し、3日間手弁当でこの社会実験を運営し、大きな問題もなく、その後のアンケートでは9割を超える国内外の方々から「よかった」との回答得た。

何度も申し上げてきたが、活性化はマイナス要因の除去だけでなく、本来は前進するための対策が一番重要で、これら取組はスピード感が必要である。地元だけでは実現できず、やはり、行政の力強い取組が必要であると考えている。市長も恒久整備と先日話しておられますが、なんば駅前のことは公共施設でもあり、また、国際空港の玄関口や観光の拠点としての役割の大きさを考えると、行政がより一層リーダーシップをとっていただき、今後は事業化に向けての調査や整備費の予算化など、思い切った措置を早急に立てていただく必要があるのではないだろうか。

国内外の観光客が集うシンボリックで安心安全な上質空間がなんばに出現すれば、大阪のイメージも劇的に向上し、大阪全体の活性化に大いに資するに違いない。

これまで以上に行政と地元が一体となり、「なんば駅前の広場化」実現に向け、事業をスピーディに推進していただくことを願います。

今後とも行政、警察、経済界、賛同団体の皆様からのご支援、ご協力をいただきながら、ミナミの更なる活性化に向けて活動を推進して参るので、何卒よろしく願いたい。

○ 大阪府副知事

それでは、大阪府から意見発表をする。

まずは、協議会の岡本会長、福長発起人をはじめ、地域の皆様には、ミナミの活性化と環境浄化のため、日頃からご尽力いただいていること、心から感謝そしてお礼申し上げます。

皆様ご承知のとおりミナミのまちは、関空に直結する大阪の正面玄関ということで、たくさんの内外からの観光客で賑わっている。昨年のこの場でも、大阪に来られた外国人観光客の人数が目標だった650万人を超えて、716万人になったと話したが、27年に716万人だった外国人観光客の人数が、既に昨年の9月時点で700万人を突破し、現在データを抽出中であるが、28年は1,000万人に迫る勢いと聞いている。府と市が共同で、2020年の来阪外国人旅行者数の目標を出しており、それは1,300万人ですが、それが手の届くところに来ているという状態である。

ここで、大阪観光局が昨年10月から11月にかけて、関空で行ったアンケート調査の結果を紹介する。

関空での調査なので、やはり東アジアからのお客様が多かったようであるが、出発前の外国人旅行者に聞いており、どこに行ったかアンケートを取ったところ、約8割の人が大阪に行ったと回答している。何故大阪に行ったか理由を聞くと、大阪の観光地が魅力的だった、大阪の食べ物が魅力的だった、ショッピングが魅力的だったという理由がトップ3である。この他に、京都、奈良の観光の拠点として大阪に行ったという理由もある。では、大阪の観光地でどこに行ったかと尋ねると、道頓堀が一番、次が大阪城、次がユニバーサルスタジオ、この3つが行かれた場所のトップ3である。この結果から考えると、大阪においては道頓堀に行き、美味しい食事をして

ショッピングをされているのだな、と思う。その方達に、大阪は初めてですか、と聞くと全体的には約7割の方が初めてである、と回答している。また、昨年同時期に比べて、初めてと答える方が増えており、特に、フィリピンやマレーシアの方に初めてという方が多かった。しかし、台湾、香港、アメリカは、半分ぐらいの方が初めてで、残りの方はリピーター、つまり半分がリピーター、という結果が出ている。

この賑わいを持続していくには、ミナミの魅力、それをささえる安全安心を高めていくことが必要であると考えている。

まず、魅力については、既にみなさんが美味しい食、楽しいショッピングの魅力を磨かれており、その結果が現れていると思う。

安全、安心については、南署をはじめ、府警察の皆様の取組、中央区の防犯の取組、地域のパトロール等の取組、さらには公民連携での客引き対策等、こういうことの効果が上がっており、引き続き取り組む必要があると思っている。

大阪府では、今月から宿泊税を導入した。観光客が急増しており、その課題解決のために受入環境整備をする必要があり、例えばWi-Fiの整備であるとか、トイレの便器の洋式化、あるいは駅の乗り換え表示を外国人向けの案内にしていって、そういうことを受入環境整備にこれを使っていきたい、あるいは大阪の魅力づくり、プロモーション、観光振興施策に使っていきたくて考えている。

今後ともこのミナミの笑顔と賑わいで溢れる、そういう魅力のあるミナミのまち、安全安心を更に高めていくということで、この協議会を通じて、大阪市、警察、事業者、そして地域の方々と一緒に取り組んでいくので、引き続きの皆様のご協力をよろしく願います。

○ 大阪市長

ミナミ活性化協議会は、大阪市、大阪府、大阪府警察、地域、経済団体の皆さんが一体となって様々な活性化方策に取り組む非常に有意義な協議会であると認識している。

そして、様々な方策を実行する実行力というのもこの協議会で生まれている。

今、ミナミは多くの方が訪れているが、一番大事なのは安全で安心な場所であることだと考えている。

私は、市会議員の時代に客引き行為等の適正化条例を作ろうと思い、地域の方々、府・市議会の議員の方々と共に、当時の橋本市長に提言を行い、結果、条例が制定されたという経緯がある。だから、この条例に対する思い入れは強いものがある。今、市長になってこの条例をより実効性のあるものにしたいと考えている。平成26年6月に条例が施行され、禁止区域を指定して2年が経った。条例施行当初、客引き行為者は一旦大きく減少したが、それ以降は増加傾向にあり、昨今では風俗系のキャッチ・スカウトの増加が著しい。また、居酒屋の客引きについては、客引き行為を請負業者に任せるといって、当時の条例では想定していなかった新たな手法も出てきており、これらに対してしっかりと対応していきたいと考えている。

具体的には、まず、指導員の体制を強化したい。昨年、この協議会で、指導員の増員をお願いされたが、市の内部で議論を積み重ね、現在は20名、6班体制であるのを、26名、8班体制に増強したい。また、今まで同じ従事日の前後半でキタとミナミを行ったり来たりして指導巡回を行っていたが、指導員をミナミ、キタにそれぞれ張り付けたい。指導巡回時間についても、これまで午後10時までだったものを、時間を延長してやっていきたい。客引きが多く出現する土曜日はこれまで指導巡回していなかったが、指導巡回するようにしたい。このような指導員の増員について予算案をこの2・3月の市会に提案する。

また、同じタイミングで条例改正も行いたい。条例に基づく悪質な客引き行為者の氏名公表については、昨年12月に条例施行後初めてとなる3人の客引き行為者の氏名公表を行った。しか

し、現在の条例では、店舗の経営者の氏名や客引き行為者の氏名は公表できるものの、店舗名自体の公表が困難である。そこで条例を改正し、店舗名なども公表できるようにしたい。また、客引き行為の実態を把握するための立入調査も行える規定を盛り込み、実効性のあるものにしていきたい。

客引き対策は、地域・大阪府警察の皆さんとも協力して、大阪市としてできることをやっている。まさに、この協議会があるからこそできるものと考えている。

自転車駐車場附置義務条例の関係についても、昨年、この協議会で地域の方から、「それぞれのビルごとに自転車の駐輪場が必要というのは現実的ではない」「駐輪場の設置範囲が非常に狭い」というご意見をいただいた。そのご意見もふまえて、昨年に条例を改正し、共同の駐輪場を設置できるようにしたり、あるいは駐輪場設置の範囲を広げるといった規制の緩和を行った。放置自転車対策についても大阪市と地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えている。

それから、やはりミナミというのは、大きな賑わいの拠点である。

特に、私自身、思い出があるのは「なんばの駅前の広場化」である。子どもの頃、父に連れられて映画を観るためなんばの駅を降りた時、今、マルイがある場所に、当時は映画を描いた絵があって、子どもながらすごく胸がときめいた記憶がある。しかし、その時のなんば駅前の景色は車だまりだった。そして、今もその時の景色から変わっていない。私はこれを変えていきたいと思っている。大阪ミナミの玄関口は「車だまり」ではなく、「人だまり」に変えていかなければいけないと強く思っている。

これは、交通規制の関係もあるので特に大阪府警察の協力が非常に大事であり、是非とも大阪府警察にはご協力をいただきたい。地域、大阪府、経済団体の皆さんとも協力してやっていかなければならないし、タクシー業界の皆さんともきっちりとコミュニケーションをとって、現在のタクシー乗り場に替わる方策の検討もしながら、ご理解をいただかなければいけない。

なんば駅前の広場化は、昨年11月11日から3日間、社会実験を行ったが、10万人という方が訪れた。先ほどミナミ活性化協議会会長からもお話があったが、この社会実験により、大きな賑わいの場をつくれることがわかった。各方面とのご相談が必要となるが、なんばの駅前の広場を人が集まる空間の玄関口に変えていきたいと強く思っている。

また、御堂筋のイルミネーションを梅田から難波まで冬の風物詩として行っている。オータムパーティーも大阪府と協力しながら、今年はファッションショーを催したり、オリンピックの男子400メートルリレーの銀メダリストの方にも走ってもらった。

地域、大阪府警察、大阪府、経済団体の皆さんとも一緒に、さらに取組を進めていきたい。ミナミの魅力というのは本当に世界に誇るものがあると思っている。

先ほど副知事から、海外から来られた方が大阪で訪れる場所として、1番が道頓堀、2番が大阪城、3番がUSJというお話をいただいた。大阪の魅力、ミナミの魅力を、大阪市・府一体となってさらに発信していきたい。

アメリカのニューヨーク・タイムズに、「今年行くべき世界の場所2017」という記事が掲載されていた。52箇所選ばれているが、この中に、東京でもなく、京都でもなく、大阪が選ばれている。世界の名だたる都市で、例えば、スイス、メキシコ、ドイツなどとある中に大阪が入っている。しかも、道頓堀の川縁の写真が大阪のシンボルとして掲載されている。これが、今の世界の評価であり、私は非常に誇らしいことだと思っている。

この道頓堀川の水質もきれいにしていきたいと考えている。大阪市の下水処理技術である高性能ろ過システムを導入して、道頓堀川に、そのろ過システムで浄化した水が入ってくるようになる計画を昨年予算化した。あと数年後になればこのシステムが稼働し始め、すごくきれいな水が道頓堀川に流れてくるようになる。道頓堀川の水質がきれいになった時にまた景色が変わる。大阪ミナミをすごく魅力がある地域にしていきたい。

私は、ミナミだけでなく、大阪全体を世界に誇れる街にしていきたい。
そのためには、このミナミ活性化協議会の場が非常に大事だと考えている。
今後とも皆様方と一致団結して進んでいきたいと思っているので、皆様方のご協力をよろしく
願います。

○ 大阪府警察本部長

平素から警察行政各般に亘り、多大なるご支援、ご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。
先ほど吉村市長から、なんば駅前の広場化の件について話があったが、大阪府警察としても、
ご期待に添えるよう頑張っていきたいと思っている。

私からも、外国人旅行者の増加に関する話として、昨年末のマスターカード調査では、過去7
年間で海外からの渡航者数が最も増えた世界中のまちの第一位は大阪で、7年間で24%増えて
おり、その順位をみていくとアジアが多く、その中でも大阪がダントツの一位になっている。

最近、大変多くの外国人が大阪を来訪されて、警察行政においても関西空港署の交番では英
語が話せる警察官を配置し、訪れた外国人の方が困らないように対応しているところであるが、
将来はミナミやキタ等にも、配置を考えていかなければ、と感じている。

では、本日の議題であるミナミ活性化協議会における大阪府警察の取組等について報告する。

ミナミ活性化協議会は、平成17年当時に設立されたが、南警察署管内で見ても、その当時と
比べて刑法犯認知件数は約4割減少している。

大阪全体の刑法犯は、平成13年から15年連続で減少しており、南警察署管内だけでも4割
程度減少している。その中でも、ひったくりについては、以前は1万1千件くらいの発生であり、
私が刑事部長で在席していた7年位前は、3,4千件の発生があった。昨年は、ひったくりが大
阪府全体で約800件、その内の一割の80件位がこの難波、南警察署管内で発生している。ひ
ったくりだけではなく、もちろん、すりや仮睡者ねらいといった歓楽街特有の犯罪もミナミ地区
は多いが、そういった数も基本的には減少してきている。

歓楽街の対策として、本日の大きなテーマは、やはり客引きである。客引きはミナミ地区を訪
れる人の体感治安を悪化させる要因であると思っている。

大阪府下で昨年1年間に302名の客引きを検挙しており、その内182名がミナミ地区での
検挙、大阪全体の客引きの約6割がこのミナミ地区で検挙されていることになる。昨年は、南警
察署を中心に、その他21の警察署を投入し、合計11回の一斉取締りを行い、先程も説明した
ミナミ地区だけで客引きを合計182名検挙しており、大きな効果が出ているところである。

その他にもミナミやキタの歓楽街で、通行中の女性を性風俗店に勧誘し、その女性達の売り上
げからスカウトバックとして金を取っていた悪質なスカウトグループを摘発し、責任者等を11
名検挙した事例もある。更に、昨年7月、11月には、戒橋上等で客引きをしていた未成年のガ
ールズバー従業員を一斉に補導するといった対策も進めている。これらの活動は私服で行ってい
るが、併せて機動隊員などを動員して制服警察官による警戒活動も実施しており、抑止面にも重
点を置いた取組を行っている。

その他、店舗型ヘルスを摘発した際には、店内の構造設備を解体させてスケルトン化を図り、
場所を提供する悪質なビルオーナーについては検挙して、違法風俗店が再入居されるのを防止す
るといった対策を実施している。

このようなどころも合わせて、ミナミでは絶対に客引きができない、そういった街の雰囲気を作
ることが大変大事になってくるのではないかと思う。地元の皆様方におかれても商店街等の活
動を通じて、取締り後に生じた空き店舗に再び、同形態の店舗を入れない、優良な店舗が入るよ
うビルオーナー等への働きかけを行っていただきたいと考えている。

今後の取組であるが、最近、フリーと呼ばれる客引きが増加しており、引き続き、客引き行

為者の取締りと、客引きによって集客を図る店舗そのものの取締りを強化していきたいと考えている。そのほか、大阪府警察では対立抗争状態にある暴力団情勢を踏まえて、これら組織の弱体化、或いは資金源対策に取り組んでおり、まさに違法風俗店や薬物密売などについて積極的に取り締まりを行い、違法収益の剥奪に努めていきたいと考えている。

今後も引き続きミナミ活性化協議会の一員として諸対策を推進して参るので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

○ 大阪商工会議所

今やミナミは、インバウンドをはじめ多くの人々で賑わっているが、ここに至るまでの岡本会長や、福長発起人をはじめ地元の皆様方の粘り強いご努力、そして警察、行政関係者の方々のご支援に対して改めて敬意を表する次第である。

私ども大阪商工会議所は、「千客万来都市 OSAKA プラン」の後継ビジョンとして「たんと繁盛大阪アクション」を策定した。「たんと」というのは、私どもの商売でいう「たんと召し上がって下さい」の「たくさん」という意味で、いかにも大阪的な表現を取り入れている。新ビジョンをもとに、大阪の都市魅力をさらに向上させていくことを重点的な目標とし、大阪全体の集客力の向上に努めて参りたいと考えている。

食やショッピング、エンターテイメントをはじめとする文化、芸能など、大阪ならではの様々な魅力を持つミナミであるが、さらに大きな魅力を作っていきたいと考えている。日本全国、そして世界から集客を図り、大阪をさらに繁盛させていこうと考える上で、ミナミは極めて重要な地域である。ミナミの賑わいが、大阪全体の観光集客力の向上にダイレクトにつながるものと期待している。なにより、ミナミには、地元商店街の皆様がまちの活性化を願って様々な努力をされてきた結果、人情味ある魅力がふんだんに溢れている。そうした経緯をもつミナミだからこそ、来街者は大きな魅力を感じてくれているのではないかと思う。今後も、地元の皆様や本協議会の活動を通じて、もっとミナミの魅力を向上させていかなければならないと思っている。

私ども大阪商工会議所としても、地元や行政の皆様と共に、ミナミの魅力をさらに高め、その魅力を内外に発信していくことに、少しでもお役に立てればと考えている。

なんば駅前の広場については、先程、大阪市長が述べられた通り、地元でも熱い思いをもたれていることから、是非実現しなくてはならない。大阪市長ならびに大阪府副知事には、スピード感を持って取り組んでいただきたい、とお願いする。

平成27年12月には地元や大阪市、大阪府等を交えた官民による合同組織「なんば駅前広場空間利用検討会」を大阪商工会議所で立ち上げている。なんば駅前広場の実現には、大阪市、大阪府等の行政、地元、経済団体が一体となって取り組まなければならない。

昨年11月には、地元の「なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会」、大阪市、大阪府、大阪商工会議所で構成する「なんば駅前周辺道路空間再編社会実験実行委員会」が社会実験を実施し、期間中の3日間、多くの人々がフリーマーケットやいろいろな催しに足を運ばれた。来街者の90%以上の方が歩行者空間化に対して「とてもよい」「よい」と回答している。社会実験を通じて、ミナミのまちに賑わいをもたらすための非常に重要な方向性が確認できたのではないかと、思う。

今後も、大阪市、大阪府をはじめとする行政や警察の皆様にご協力いただきながら、なんば駅前の空間利用方法を検討していく必要がある。また、大阪市には整備内容や管理運営方法等、実現に向けた対策を関係部局とスピード感をもってご検討いただきたい、と改めてお願いしたい。

また、「自転車駐車場の附置義務条例」に関しては、市長が述べられた通り、条例が改正され、一歩前に進んだと思う。しかし、今後も商店街関係者のご意向を踏まえ、更なる改善をご検討いただきたい。

最後になったが、地元主導の下、行政や警察、経済団体も巻き込んで取組を続けられた地道なご努力がいま、このように実を結んでいる。本日、活動の成果をお聞きして非常に心強く感じている。こういった活動を継続することで、ミナミが全国の繁華街の活性化の一つのモデルにもなっていくのではないかと、思っている。

今後もミナミの活性化に向けて取り組んでいくことを再度この場で確認しあって、本協議会を通じて力強く推進していきたい。

○ 福長発起人

現在、大阪市では客引き適正化指導員の方々を20名配置していただいております、この効果は絶大である。市民もみな大変感謝している。

しかしながら、本日、来場されている方や、この協議会やこの取組に関わっている方々、それ以外の方、或いは他府県の方など、あらゆる全ての方から、「本当に大阪は良いまちだ」「ミナミは安全安心だな」と言ってもらえる段階にはまだ一歩、二歩、といったところだと私は思う。

今後は、先ほど吉村市長から、客引き適正化指導員の人数を20名から26名に増員するというお言葉をいただき、本当にありがたいと思っている。実は、私は、客引き適正化指導員の方を40名お願いしようと思っていたところであったが、それはそれとして。

今後は、予算等、大変難しいことが多いと思う。

私は難しいところはわからないが、次年度以降も引き続き、吉村市長、よろしく願います。以上、私の発言とさせていただきます。

5 共同アピールの採択

意見交換後、出席者全員一致で「第12回ミナミ活性化協議会代表者会議共同アピール」を採択した。

6 啓発イベント、パレード

代表者会議終了後、相合橋において啓発イベントを行い、道頓堀通（相合橋～御堂筋の間）でパレードを実施した。

第12回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、平成17年の設立より、誰もが安全で安心して楽しめるミナミのまちの実現に向けて、地元・行政・経済界が連携したオール大阪体制を確立し、多くの対策を推進してきた。

これまでの間、違法風俗店等の取締りをはじめ、設立当初からの課題である違法な客引きに対する継続的な取締りや条例制定等による規制の強化、地域主体によるパトロール活動など、たゆみない風俗環境の浄化に向けた取組を行っている。

また、放置自転車対策、まちの環境整備、地区計画や各種協定の締結等、様々な取組により、ミナミのまちは、多くの来訪者で賑わいを取り戻し、国際集客都市大阪のブランドイメージを支えるまちとして確実に歩み出している。

さらに、世界に誇れる安全で安心な魅力あふれるまちへと発展させるため、今一度「みんなでつくりょう ええ街ミナミ」を合言葉に、次の2点を目標に掲げて、強力で推進することとした。

一、 『安全安心で、快適なまちの実現に向けて』

違法な客引きの取締りや行政指導、客引きをさせない環境づくりに向けた対策、街頭における犯罪抑止対策や放置自転車対策を推進するとともに、ビルの健全化に向けた対策を継続し、根源的なまちの浄化に取組み、安全安心かつ快適に楽しめるまちづくりを推進する。

一、 『魅力とにぎわいのあふれるまちの実現に向けて』

ミナミならではの魅力の創出、情報発信力の強化を図るとともに、人中心の新たなシンボル空間を生み出す「なんば駅前の広場化」に向け、地元・行政が一体となった取組を進め、食や文化を楽しむ風情が息づき、訪れる誰もが魅力を感じられる、にぎわいあふれるまちづくりを推進する。

平成29年1月14日

【ミナミ活性化協議会】

大阪府知事	松井一郎
大阪市長	吉村洋文
大阪府警察本部長	村田隆
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福長徳治
大阪商工会議所会頭	尾崎裕
一般社団法人関西経済同友会代表幹事	蔭山秀一

～賛同団体～

ミナミまち育てネットワーク
公益社団法人関西経済連合会
公益財団法人大阪観光局